



## 代表取締役 大島 昌子

鹿児島県出身。自分のことを顧みず、他人のために尽くした祖父の影響を色濃く受けたという、自他ともに認める「世話好き」。日立製作所の労働組合専従書記を務めた後、多くの経営者の支援もあって、平成2年4月、アウトソーシングを通じて中小企業を支援し、地域振興を目指すコンサルティングオフィスを設立した。「お客様に喜ばれることが嬉しくて、仕事を続けてきました。これからもお客様の笑顔のため、人の立場になって考えることのできる企業であり続けたいと思います」と語る。



## 株式会社 コンサルティングオフィス

神奈川県横浜市泉区新橋町 1463-1  
TEL 045-813-8434 FAX 045-813-6744

★経営管理コンサルタント事業部  
★販売促進事業部  
★芸能・イベント事業部

### コンサルティング業務だけにとどまらない幅広い事業内容

当初、中小企業にとって最適の環境づくりを提案することを目的に設立されたコンサルティングオフィスだが、年を経るごとに会社に対する期待も高まり、10周年を迎えた現在は、地域振興のため、高齢福祉のためにも、そのプロフェッショナルな技術を広く提供するようになっている。またコンサルティング業務だけではなく、異業種交流会を主催するなどして、地元企業の活性化にも貢献している。

同社の社是社訓は、  
たった一言が 人の心を傷つける  
たった一言が 人の心を暖める  
本気ですれば 大抵のことができる  
本気ですれば 何でもおもしろい  
本気でしていると 誰かが助けてくれる  
これらが、事業に反映されているのはいうまでもない。

## 少子高齢化社会に向け お客様の立場に立って考える企業姿勢を貫く

中小企業のため、あらゆるコンサルティング業務を手がけることを目的に、平成2年に設立されたコンサルティングオフィス。今年10周年を迎え、その目的は企業にとどまらず、「地域の方々に喜ばれる仕事」へと広がっている。「地域振興のため、高齢福祉のため、プロフェッショナルな技術を提供していきたいと考えています」と語る大島社長に、俳優の大石吾朗氏がお話をうかがった。



大石 まずは会社設立10周年、おめでとうございます。

大島 ありがとうございます。私共は大手企業に比べ、制度的に守られていない中小企業を支援することを目的に、平成2年4月に設立しました。日々の経理処理や従業員の給与計算、金融機関との折衝、労災保険や社会保険のトラブル解消といった、事業主の方々を取り巻く問題を処理させていただき、心おきなく本業に専念していただけるアウトソーシングシステムを提案しております。

また最近では企業だけではなく、少子高齢化社会に向け、地域の皆さんにとっての総合コンサルタントとしてお役に立てるよう、態勢を整えています。

大石 どのような経緯で会社設立に至ったのですか。

大島 良いといえば世話好き、悪くいえばお節介な性格でして(笑)、日立製作所の労働組合専従書記の仕事から離れた後、制度的に守られていない中小企業のお役

に立てないだろうか、とっていました。企業は、要件に応じて弁護士や税理士、行政書士のそれぞれに経費を払いますが、それらを一本化できれば経費を削減でき、出費を抑えられるのではないかと考えました。私を信用してくださる方のバックアップもあり、会社設立に至ったのです。当時はまだ、私共の業務はあまり認識されていませんでした。

例えば、6万3000円以上の高額医療費は、請求すれば戻ってきます。そのことを知らないため、多額の費用がかかるからと治療を受けない方もいらっしゃるのです。私共ではそのような情報を提供し、代行して請求することでお客様に治療を受けてもらい、喜んでいただく仕事をしています。最近になり、企業だけではなく、このような個人のアウトソーシング業務に関しても理解していただけるようになりました。

大石 いわゆる「資格集団」とは違うようですね。

大島 ええ。日本は資格で認められる社会ですが、大切なのは資格を有することではなく、プロフェッショナルな知識をどう生かすか、ということだと考えています。そこで私共も、結果で評価されたいと思っています。また、アウトソーシ

ング業務は、そうあるべきだとも思っています。常にお客様の立場に立って物事を考え、最善を尽くすことが求められるのです。

5年ほど前、ある企業が倒産することになり、私は債権者を集めて説明会を開くことになりました。「女に何ができるか」という空気が感じられましたが、会社の実態を理解した上できちんと説明させていただくと、納得していただきました。先日、倒産した会社の社長から「自営業で出直しがうまくいったので法人化したい。以前、大変なお世話になったのでまた仕事をお願いしたい」と電話があったのです。誠心誠意を尽くして仕事に取り組んだことが認められ、とても嬉しかったですね。

大石 現在、スタッフは何名いらっしゃるのですか。

大島 6名です。1名が芸能・イベント事業部の専任で、あとの5名で実務に当たっています。

皆にはいつも、「今日一日が無事に終わったことを感謝しましょう」と話しています。感謝の気持ちを大事にする、ということですね。

大石 最後に、今後の展望をお聞かせください。

大島 21世紀の少子高齢化社会に向けて、企業、そして地域とのつながりをますます強め、お客様に喜ばれる仕事を続けたいと思っています。

大石 本日はお忙しいところ、まことにありがとうございました。

### 大石 吾朗 (俳優)

## GUEST

「私もそうですが、社会の制度について、一般の方はあまり詳しくないものです。その点、プロフェッショナルの方に適切なアドバイスをいただければ、これまで知らなかった制度を活用できたりと、より暮らしやすくなることでしょう。地域振興のためにも、コンサルティングオフィスさんのこれからのご活躍に期待したいところです」

